

慶應義塾大学

大学院

修士課程入試問題

商学研究科

英語

2017年度

(平成29年度)

慶應義塾大学大学院  
2017年度 商学研究科修士課程入試問題

英語

以下の設問すべてに答えなさい。解答はすべて日本語で書くこと。ただし、所定の行数を越える答案は採点しない。

設問1 以下の記事を読んで、問1から問4にすべて答えなさい。

問1 本記事のタイトルは、『All Entrepreneurship Is ×××』である。本記事の内容から考え、タイトルの『×××』が何かを答えなさい。なお、『×××』は本文中に使用されている一語の単語である。

問2 筆者は、アメリカ人の健康状態がよくなり、長寿となったのは、誰の貢献だと言っているか？そして、どのように貢献したと言っているか？ 5行以内で説明しなさい。なお、解答の際には、『clothing』と『indoor plumbing』の訳語を必ず使用しなさい。

問3 下線部①を訳しなさい。その上で、筆者はこの考えについて、どのように考えているか？ 下線部②のGustavus Swiftの例を使って、下線部①の訳とともに、5行以内で説明しなさい。

問4 下線部③について、筆者は、現在の開発途上国において、以前の米国における鉄道と同等のものとして何を取り上げているか？ そして、なぜそれが同等のものだと言っているのか？ 3行以内で説明しなさい。

(出典 *Stanford Social Innovation Review* 2010年春号の Carl Schramm 氏の記事より一部を抜粋)

設問 2 以下の記事を読んで、問 1 から問 4 にすべて答えなさい。

問 1 下線部①の問いについて、アメリカの学童・生徒を対象に 1995 年に行われた簡単な分析がある。その結果を、2 行以内で説明しなさい。

問 2 異性の友人の存在が学校の成績に与える影響を測るには、下線部②の困難がある。

(1) 記事が紹介している、異性の友人数と成績が正の相関を持ちうる事例 2 つを、2 行以内で説明しなさい。

(2) Mr. Hill は異性の友人の多さを説明する変数として何を使ったか、1 行で説明しなさい。

問 3 下線部③の意味を、2 行以内で説明しなさい。

問 4 異性の友人の存在が成績以外に与える影響として、Mr. Hill は何を示したか、1 行で説明しなさい。

(注) fraternize (動詞) 親しくつきあう。hobnob (動詞) 親しくつきあう。clique (名詞) 徒党。  
GPA とは、成績を数値化したもので、高いほど良い評価となる。co-ed (形容詞) 男女共学の。

(出典 “The dreamboat next door,” *The Economist*, Aug 8th 2015)